

服用にあたって

ピオグリタゾン錠「ニプロ」を
服用される患者さんへお渡してください。



インスリン抵抗性改善剤 — 2型糖尿病治療剤 —
日本薬局方 ピオグリタゾン塩酸塩錠

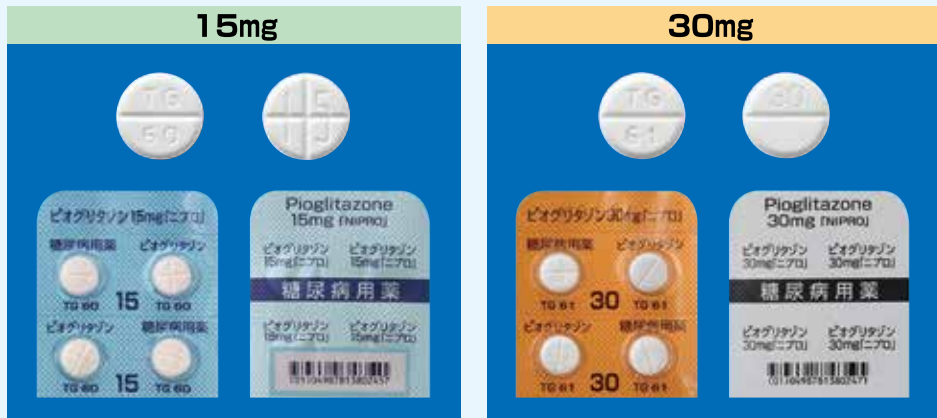
ピオグリタゾン錠 15mg 「ニプロ」

ピオグリタゾン錠 30mg 「ニプロ」

ニプロESファーマ株式会社

ピオグリタゾン錠「ニプロ」を お飲みになる患者さんへ

ピオグリタゾン錠「ニプロ」は、インスリンが働きにくい状態(インスリン抵抗性)を改善したり、肝臓での糖の産生を抑えて、高血糖を改善します。



飲むときの注意

この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。**指示どおりに飲み続けることが重要です。**

この薬の使い方は？

使用量および回数 飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔食事療法、運動療法の場合及び食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤又は α -グルコシダーゼ阻害剤若しくはビグアナイド系薬剤を使用する場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、右のとおりです。

	ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」	ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」
一回量	1～2錠(最大3錠)	1錠(最大1.5錠)
飲む回数	1日1回朝食前または朝食後	

むくみが比較的多く報告されている女性や高齢者の人では、ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」は1錠、ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」は半錠から開始されることがあります。

1日30mgから45mgに増量した後、**むくみ**が多く見られています。45mgに増量された場合、**むくみ**に注意してください。

〔食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用する場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、右のとおりです。

	ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」	ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」
一回量	1錠(最大2錠)	半錠(最大1錠)
飲む回数	1日1回朝食前または朝食後	

インスリンとの併用時は**むくみ**が多く報告されているので、ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」は1錠、ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」は半錠から開始されます。1日30mgに増量された場合も**むくみ**に注意してください。

お薬を飲むときに注意すること

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

飲み忘れた場合の対応

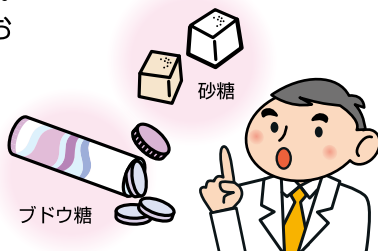
昼までに飲み忘れに気づいた場合は、1回分をすぐに飲んでください。ただし、昼すぎに飲み忘れに気づいた場合は、1回とばして次の時間に1回分飲んでください。

決して2回分を一度に飲まないでください。

誤って多く飲んだときには、医師または薬剤師の先生に相談してください。

この薬の使用中に気をつけなければならないことは？


- ◆浮腫(むくみ)や急激な体重増加、心不全症状(息切れ、動悸(どうき)など)があらわれた場合は、使用を中止して医師に伝えてください。
- ◆投与中に血尿、頻尿、排尿痛等の症状を認めた場合は、直ちに医師にご相談ください。また、主治医の先生の指示を守って定期的に尿検査等を受けてください。
- ◆他の糖尿病薬と併用した場合に低血糖症状(脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸(どうき)、手足のふるえ、意識がうすれるなど)があらわれることがあります。低血糖症状があらわれた場合は、通常は砂糖を飲んでください。 α -グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース、ミグリトール)を併用している場合は、ブドウ糖を飲んでください。
この薬を使用するにあたっては、患者さんおよびご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ◆妊婦または妊娠している可能性がある方は、この薬を使用することはできません。また、授乳は避けてください。





製品に関するお問い合わせ先

ニフ.0株式会社 医薬品情報室

 **0120-226-898**

受付時間：9時～17時15分(月～金、祝日・弊社休業日を除く)